

2009年度 東京大学 前期 数学(文系)

第 1 問

(1) C_3 が C_1 に内接することから, $\sqrt{a^2 + b^2} = 2 - t$ ……①

また, C_3 が C_2 に外接することから, $\sqrt{(a-1)^2 + b^2} = 1 + t$ ……②

ただし, $0 < t < 2$ ……③

③のもとで,

$$\text{①} \Leftrightarrow a^2 + b^2 = (2 - t)^2 \quad \text{……④}$$

$$\text{②} \Leftrightarrow (a - 1)^2 + b^2 = (1 + t)^2 \quad \text{……⑤}$$

④, ⑤を辺々引いて, $2a - 1 = 3 - 6t \quad \therefore a = 2 - 3t$

これを④に代入して整理すると, $b^2 = 8t - 8t^2$ ……⑥

$b > 0$ に注意して, $b = \sqrt{8t - 8t^2}$ ……⑦

t がとりうる値の範囲は, ③, かつ, ⑥の右辺が正であることより,

$$\text{③かつ} 0 < t < 1 \quad \therefore 0 < t < 1 \quad \text{……⑧}$$

(2) ⑦より $b = \sqrt{-8\left(t - \frac{1}{2}\right)^2 + 2}$ であるから, ⑧における b の最大値は,

$$\sqrt{2} \quad \left(t = \frac{1}{2} \text{ のとき}\right)$$

第 2 問

- (1) m が素数ならば, ${}_m C_1 = m$ を割り切る自然数は 1 と m だけであり, さらに, $r = 1, 2, \dots, m-1$ のとき,

$$r {}_m C_r = m {}_{m-1} C_{r-1}$$

の右辺は m で割り切れるから, 左辺も m で割り切れ, r が m で割り切れないことから, ${}_m C_r$ が m で割り切れる.

以上から, ${}_m C_r$ ($r = 1, 2, \dots, m-1$) をすべて割り切る最大の自然数, すなわち d_m は m である.

- (2) (i) $k = 1$ のとき

$k^m - k = 0$ は d_m で割り切れる.

- (ii) 自然数 k に対して $k^m - k$ が d_m で割り切れるとする.

$$(k+1)^m - (k+1) = \sum_{r=0}^m {}_m C_r k^r - (k+1) = \sum_{r=1}^{m-1} {}_m C_r k^r + (k^m - k)$$

において, ${}_m C_r$ ($r = 1, 2, \dots, m-1$) はすべて d_m で割り切れ, $k^m - k$ も d_m で割り切れることから, $(k+1)^m - (k+1)$ は d_m で割り切れる.

以上から, すべての自然数 k に対して, $k^m - k$ が d_m で割り切れる.

第 3 問

(1) 操作(A)を 5 回おこなったとき, L に 4 色すべての玉が入っているのは, ある色の玉が 2 回出て, それ以外の 3 色の玉が 1 回ずつ出る場合であるから, その確率は

$${}^4C_1 \cdot \frac{5!}{2!1!1!1!} \left(\frac{1}{4}\right)^5 = 4 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot \left(\frac{1}{4}\right)^5 = \frac{5 \cdot 3}{4^3} = \frac{15}{64} \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

操作(B)を 5 回おこなったとき, R に 4 色すべての玉が入っている確率も同じであるから,

$$P_1 = \left(\frac{15}{64}\right)^2 = \frac{225}{4096}$$

(2) ①と同じで, $P_2 = \frac{15}{64}$

(3) 操作(C)を 10 回おこなったとき, L にも R にも 4 色すべての玉が入っているのは, ある色の玉が 4 回出て, それ以外の 3 色の玉が 2 回ずつ出る

または

ある 2 色の玉が 3 回ずつ出て, それ以外の 2 色の玉が 2 回ずつ出る

場合であるから,

$$\begin{aligned} P_3 &= \left({}^4C_1 \cdot \frac{10!}{4!2!2!2!} + {}^4C_2 \cdot \frac{10!}{3!3!2!2!} \right) \left(\frac{1}{4}\right)^{10} \\ &= (4 \cdot 10 \cdot 9 \cdot 7 \cdot 6 \cdot 5 + 6 \cdot 10 \cdot 9 \cdot 8 \cdot 7 \cdot 5) \left(\frac{1}{4}\right)^{10} \\ &= 4^2 \cdot 5^2 \cdot 3^4 \cdot 7 \cdot \left(\frac{1}{4}\right)^{10} \end{aligned}$$

以上から,

$$\frac{P_3}{P_1} = \frac{4^2 \cdot 5^2 \cdot 3^4 \cdot 7}{(4^2 \cdot 5 \cdot 3)^2} = \frac{3^2 \cdot 7}{4^2} = \frac{63}{16}$$

第 4 問

$$(1) f(0) = 0, f(2) = 2 \text{ より, } \begin{cases} c = 0 \\ 4a + 2b + c = 2 \end{cases} \therefore \begin{cases} b = -(2a - 1) \\ c = 0 \end{cases}$$

よって, $f(x) = ax^2 - (2a - 1)x$ であり, このとき, $f'(x) = 2ax - (2a - 1)$

$y = f'(x)$ のグラフは直線であり, $f'(0) = -2a + 1$, $f'(2) = 2a + 1$ であることに注意して, 場合分けする.

$$(i) -\frac{1}{2} \leq a \leq \frac{1}{2} \text{ のとき}$$

$0 \leq x \leq 2$ において $f'(x) \geq 0$ であるから,

$$S = \int_0^2 |f'(x)| dx = \int_0^2 f'(x) dx = f(2) - f(0) = 2 - 0 = 2$$

$$(ii) a < -\frac{1}{2} \text{ のとき}$$

$0 \leq x \leq \frac{2a-1}{2a}$ において $f'(x) \geq 0$, $\frac{2a-1}{2a} \leq x \leq 2$ において $f'(x) \leq 0$ であるから,

$$\begin{aligned} S &= \int_0^2 |f'(x)| dx = \int_0^{\frac{2a-1}{2a}} f'(x) dx - \int_{\frac{2a-1}{2a}}^2 f'(x) dx \\ &= \left\{ f\left(\frac{2a-1}{2a}\right) - f(0) \right\} - \left\{ f(2) - f\left(\frac{2a-1}{2a}\right) \right\} = 2f\left(\frac{2a-1}{2a}\right) - f(0) - f(2) \\ &= 2 \left\{ a \left(\frac{2a-1}{2a}\right)^2 - (2a-1) \frac{2a-1}{2a} \right\} - 0 - 2 = -\frac{(2a-1)^2}{2a} - 2 = -2a - \frac{1}{2a} \end{aligned}$$

$$(iii) a > \frac{1}{2} \text{ のとき}$$

$0 \leq x \leq \frac{2a-1}{2a}$ において $f'(x) \leq 0$, $\frac{2a-1}{2a} \leq x \leq 2$ において $f'(x) \geq 0$ であるから, この場合の S は, (ii) の場合の結果の (-1) 倍に等しく,

$$S = 2a + \frac{1}{2a}$$

(2) $a > \frac{1}{2}$ のとき, 相加平均・相乗平均の不等式より,

$$S = 2a + \frac{1}{2a} \geq 2\sqrt{2a \cdot \frac{1}{2a}} = 2$$

であり, $a < -\frac{1}{2}$ のとき, 同様にして,

$$S = -2a - \frac{1}{2a} \geq 2\sqrt{(-2a) \cdot \left(-\frac{1}{2a}\right)} = 2$$

である. さらに, $-\frac{1}{2} \leq a \leq \frac{1}{2}$ のとき $S = 2$ であるから, S の最小値は, 2